

部長会議付議事案書（報告）

（令和2年7月7日）

提案課名 契約検査課 建設管理課

報告者名 古谷 昭仁 内藤 道夫

事案名	工事請負契約の締結について （令和2年度南矢名陸橋橋りょう修繕耐震補強工事）	資料 有
提案趣旨	「令和2年度南矢名陸橋橋りょう修繕耐震補強工事」について、本年7月7日に契約締結しましたので、報告するものです。 なお、本案件は、契約金額が1億円以上1億5千万円未満であるため、「秦野市議会の先例・申し合わせ」第5第2項に基づき、議員連絡会に報告するものです。	
概要	1 起工理由 本工事は、平成26年3月に策定した橋りょう耐震補強計画に基づき、本市において防災上重要な道路施設である南矢名陸橋の耐震補強工事を行うものです。また、耐震補強工事に併せて、平成24年8月に策定した橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を行うものです。 2 設計金額 136,090,000円（税抜き） 3 入札参加資格要件 令和元・2年度競争入札参加資格者名簿登録時の登録業種（土木工事）に係る経営事項審査総合評定値が700点以上の秦野市内に本店を有している者	
経過	1 入札公告 令和2年6月10日 2 開 札           "     29日 3 契約締結       "     7月 7日 4 契約金額 126,225,935円（税込み） 114,750,850円（税抜き） 5 契約締結事業者 秦野市戸川929番地の9 株式会社稲元興業 代表取締役 森 孝 司 6 工事概要及び入札結果等 資料のとおり	

今後の 進め方	1	議員連絡会への報告	令和2年	7月16日
	2	現場着手	〃	8月 中旬
	3	工期末	令和3年	2月12日

## 工事請負契約の締結について

令和2年7月7日  
総務部契約検査課  
建設部建設管理課

- 1 工 事 名  
令和2年度南矢名陸橋橋りょう修繕耐震補強工事
  - 2 工 事 場 所  
秦野市南矢名地内
  - 3 契 約 方 法  
条件付き一般競争入札による契約
  - 4 契 約 金 額  
126,225,935円  
(うち、取引に係る消費税及び地方消費税の額 11,475,085円)
  - 5 契約の相手方  
秦野市戸川929番地の9  
株式会社稲元興業  
代表取締役 森 孝 司
  - 6 契約締結日  
令和2年7月7日
  - 7 工 期  
令和2年7月8日から令和3年2月12日まで
  - 8 工 事 概 要  
工事対象橋梁 南矢名陸橋 1橋  
施工延長 64.9メートル  
幅員 7.0メートル
- |               |               |     |
|---------------|---------------|-----|
| (1) 橋りょう耐震補強工 | 橋脚耐震補強工       | 3基  |
|               | 水平力分担構造工      | 20基 |
| (2) 橋りょう修繕工   | コンクリートひび割れ注入工 | 一式  |
| (3) 仮設工       |               | 一式  |
| (4) 付帯工       |               | 一式  |

## 9 入札の結果

- (1) 開札執行日 令和2年6月29日  
(2) 入札参加者数 15者  
(3) 設計金額（事前公表） 136,090,000円  
(4) 予定価格（事後公表） 135,001,000円  
(5) 最低制限価格（事後公表） 114,750,850円

入札金額	決定区分	事業者名
114,635,250円	失格	有限会社諸星建設
114,635,250円	失格	株式会社水野建設
114,635,250円	失格	有限会社森環境開発
114,750,850円	落札	株式会社稲元興業
115,097,650円		株式会社関野建設
115,213,250円		株式会社成瀬
115,444,450円		株式会社坂本建設
115,444,450円		株式会社みどりや
115,444,450円		株式会社クズハ建設
115,560,050円		株式会社東開造園土木
115,676,500円		株式会社栗原建設
115,676,500円		株式会社興栄建設
118,400,000円		株式会社菊正建設
121,991,000円		三和建工株式会社
122,481,000円		有限会社三貴建設

※ 金額は全て税抜きで表示

※ 「失格」は、最低制限価格未満のため

## 10 位置図

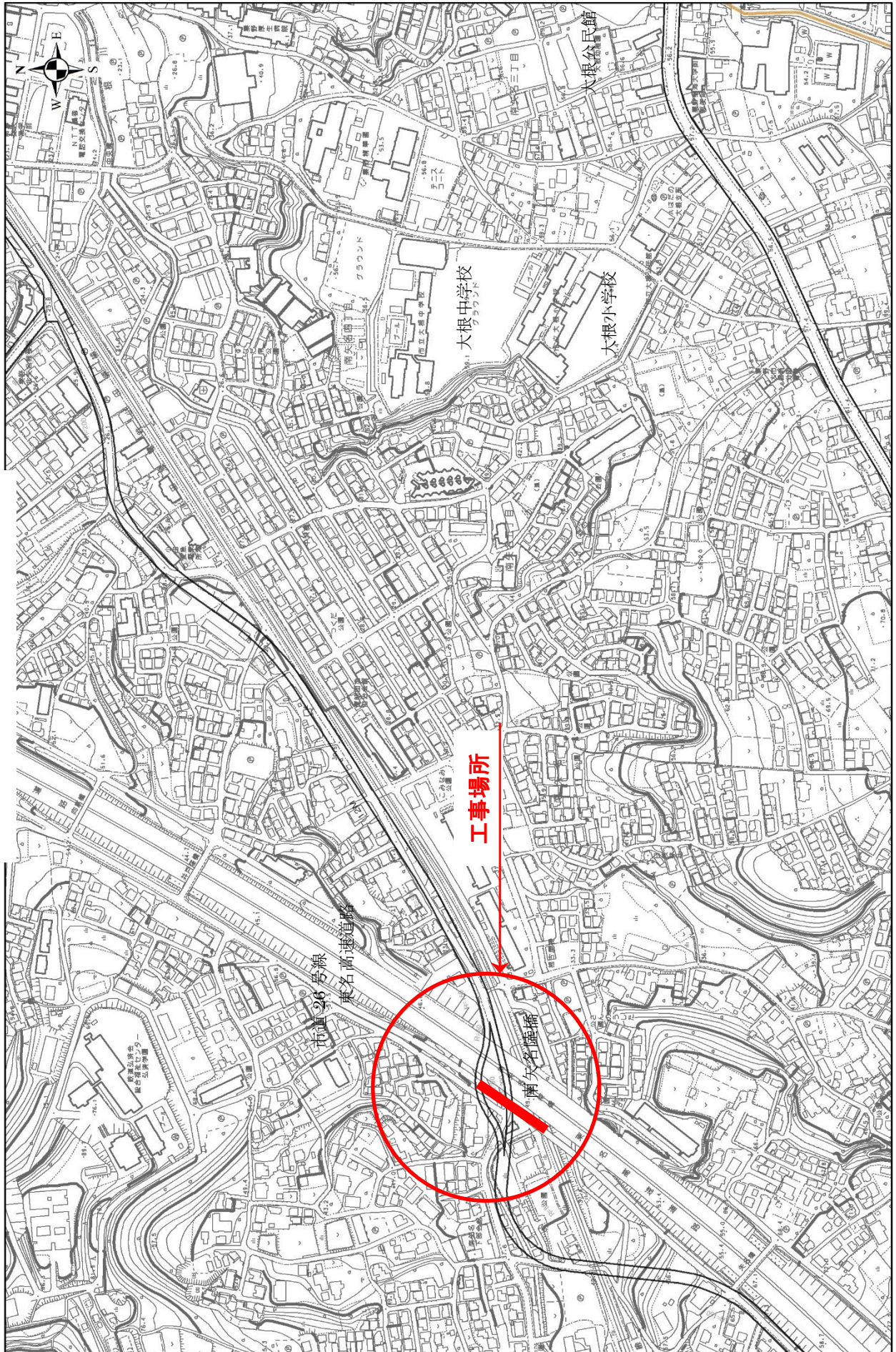
3ページのとおり

## 11 側面図等

4ページのとおり



# 位置图







## 部長会議付議事案書（報告）

（令和2年7月7日）

提案課名 観光振興課 公共建築課

報告者名 和田 恭 梅沢 真紀男

事案名	名水はだの富士見の湯における設備の不具合について	<input checked="" type="checkbox"/> 有 資料 無
提案趣旨	<p>名水はだの富士見の湯（以下「富士見の湯」という。）は、はだのクリーンセンター（以下「クリーンセンター」という。）の余熱利用施設として平成29年10月に開業しましたが、同施設とクリーンセンターを接続する高温水配管に、不具合が生じています。これらの原因究明を行うため、富士見の湯とクリーンセンターそれぞれの敷地を掘削し、土中に埋設されている管材の状況及び周辺の状況調査を行いました。</p> <p>つきましては、調査の概要及び今後の対応について、報告するものです。</p>	
概要	<p>調査の結果判明した状況は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高温水配管の保温材は、ほぼ全長にわたり、炭化もしくは溶解と思われる劣化が発生し、主管と外皮のみで保温材が欠損している。</li> <li>2 ボックスカルバートの貫通部分の双方に空隙がみられ、雨水がボックスカルバート内部に流入する状態であった。</li> <li>3 高温水配管の外皮に多数亀裂があり、雨水が亀裂部より外皮と主管の間に入り、主管の外側を伝わり、ボックスカルバート内部に流入していた。</li> <li>4 高温水配管から漏れ出た熱や蒸気により、給水管が変形し、漏水していた。</li> <li>5 給水管の破損部より漏れた水道水が、外皮の亀裂部より浸入し、外皮と主管の間を伝わり、ボックスカルバート内に流入していた。</li> <li>6 本調査とは別の場所において高温水の漏水が発生。高温水配管の主管に腐食と思われる事象を確認。その時点で高温水の循環は停止。</li> </ol>	

経過	<p>平成29年10月 富士見の湯オープン</p> <p>平成30年 7月 マンホール上の雨水が乾き、蒸気が発生する異常が発生</p> <p>〃 8月 ボックスカルバート内へ水の流入を確認</p> <p>〃 10月 止水剤による補修を実施するが、効果なし</p> <p>以降、公共建築課が増水を確認する度、排水作業を実施</p> <p>令和 元年 6月 高温水循環の停止の間、止水剤の再補修を実施するが効果なし</p> <p>〃 10月 ボックスカルバート内部の調査を実施。継目部を確認するも、水の流入原因は判らず</p> <p>〃 11月 来年度、状況調査を実施することとし、その内容及び費用を検討</p> <p>〃 12月 材料メーカー、施工業者、監理業者、庁内関係者から聞き取り</p> <p>令和 2年 1月 他市等の高温水システムの事例を調査</p> <p>〃 5月 状況調査により不具合箇所を複数確認</p> <p>また、富士見の湯地下ピット内で、主管より高温水の漏水発生</p> <p>〃 6月 富士見の湯の熱源を余熱からガスへ切り替え営業</p>
今後の進め方	<p>令和 2年 7月 本件を議員連絡会で報告</p> <p>高温水の漏水に係る原因の調査を分析機関へ依頼</p> <p>調査委員会の設置</p> <p>令和3年度予定改修工事の設計を開始（11月末まで）</p> <p>〃 9月 補正予算（ガス給湯費用）</p> <p>令和 3年 2月 令和3年度予定改修工事の入札準備</p> <p>〃 3月 令和3年度予算提出</p> <p>（令和3年度改修工事請負費・工事期間分のガス給湯用光熱水費）</p> <p>〃 4月 工事着工</p>

【添付資料】

資料1 高温水配管不具合調査結果及び高温水漏水の写真（公共建築課）

資料2 高温水システムにおける今後の対応（観光振興課・公共建築課）



# 高温水配管不具合調査結果及び高温水漏水の写真

1 高温水配管の保温材がほぼ全長にわたり劣化  
(炭化若しくは溶解と思われる)



写真1

2 ボックスカルバートの配管貫通部分のシール部分に空隙



写真2

3 高温水配管の外被に多数亀裂



写真3

4 給水管からの漏水



写真4

5 給水管の破断部より溢れた水が、外皮の亀裂部より浸入し、外皮と主管の間を伝わり、ボックスカルバート内に流れ出ていることを確認



写真5-1



写真5-2

6 高温水が主管より漏水

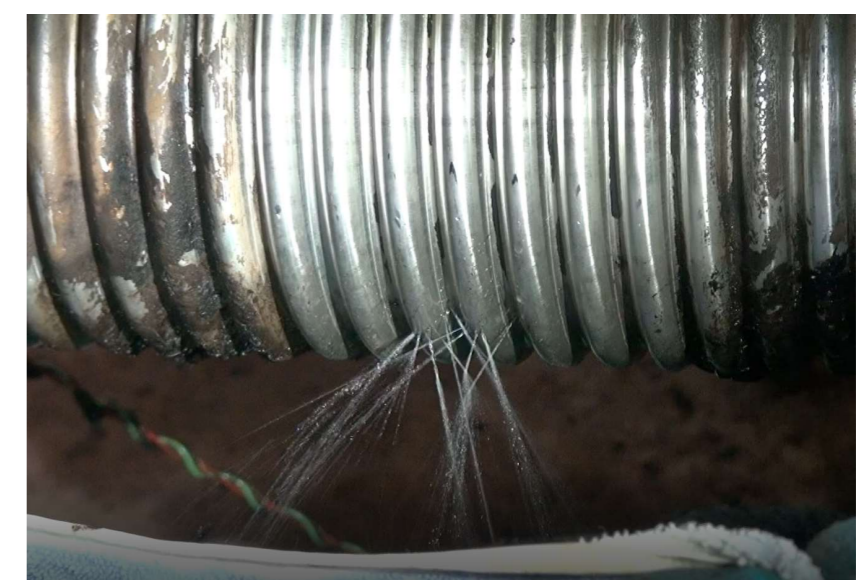
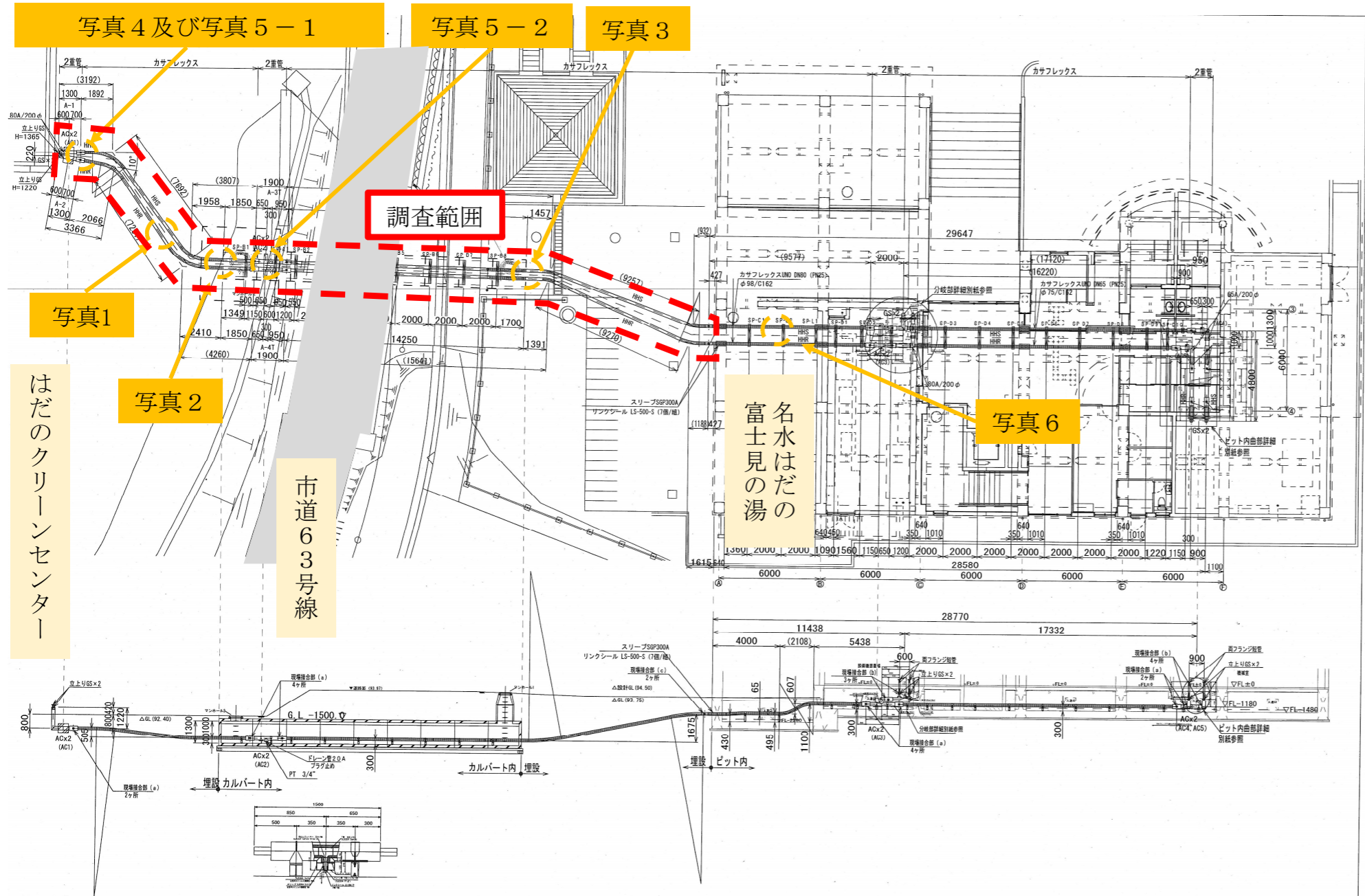
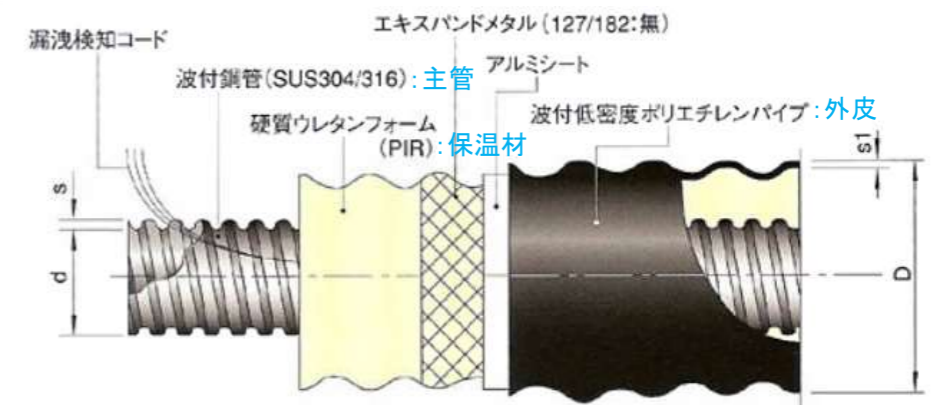


写真6



《参考 高温水配管構造図》



タイプ	DN	導管		外装管		参考質量 (kg/m)	最小曲げ半径 (m)	最大条長 コイル (m)
		外径 d (mm)	肉厚 s (mm)	外径 D (mm)	肉厚 s1 (mm)			
30/91	25	33.7	3.2	93	1.9	1.48	0.8	570
39/111	32	42.4	3.2	113	2.3	2.15	1.0	370
48/111	40	48.3	3.2	113	2.6	2.46	1.0	370
60/126	50	60.3	3.6	128	2.6	3.02	1.2	230
75/142	65	76.1	3.6	144	2.9	4.10	1.5	210
98/162	80	88.9	4.0	164	3.2	5.70	1.8	180
127/182	100	114.3	4.5	184	3.3	7.40	2.0	-



## 名水はだの富士見の湯の高温水システムにおける 今後の対応について

### 1 名水はだの富士見の湯の熱源

高温水システムの配管が利用できないことから、熱源をはだのクリーンセンターで発生する余熱を利用した高温水から、ガスに切り替えて営業する。

- (1) 費用 約 6,699 千円 ※令和 2 年度分

### 2 高温水の漏水に係る原因の調査

名水はだの富士見の湯ピット内の主管から高温水が漏水した原因を明確にするため、漏水の孔部分の断面観察等の分析調査を行う。

- (1) 費用 約 700 千円  
(2) 分析期間 約 1 ヶ月

### 3 高温水システム配管の劣化原因究明のため調査委員会を設置

高村副市長に委員長を依頼し、東海大学材料科学専門の宮沢靖幸教授を外部委員として招へいするほか、関係部署で構成する。

現在の配管の材料や設計、施工が適正であったかを検証し、高温水システム配管の劣化原因を調査する。(7月から9月で計3回を予定)

名水はだの富士見の湯がはだのクリーンセンターからの余熱を利用する施設として引き続き運営できるよう、調査結果をもとに、今後の設計に係る方向性を示す。

- (1) 費用 約 100 千円

### 4 設計委託業務

高温水システムは、耐水性、耐熱性等の信頼性と経済性を考慮したものが要求され、設計にはこれらに関する知識を有するプラント会社等の協力が必要である。

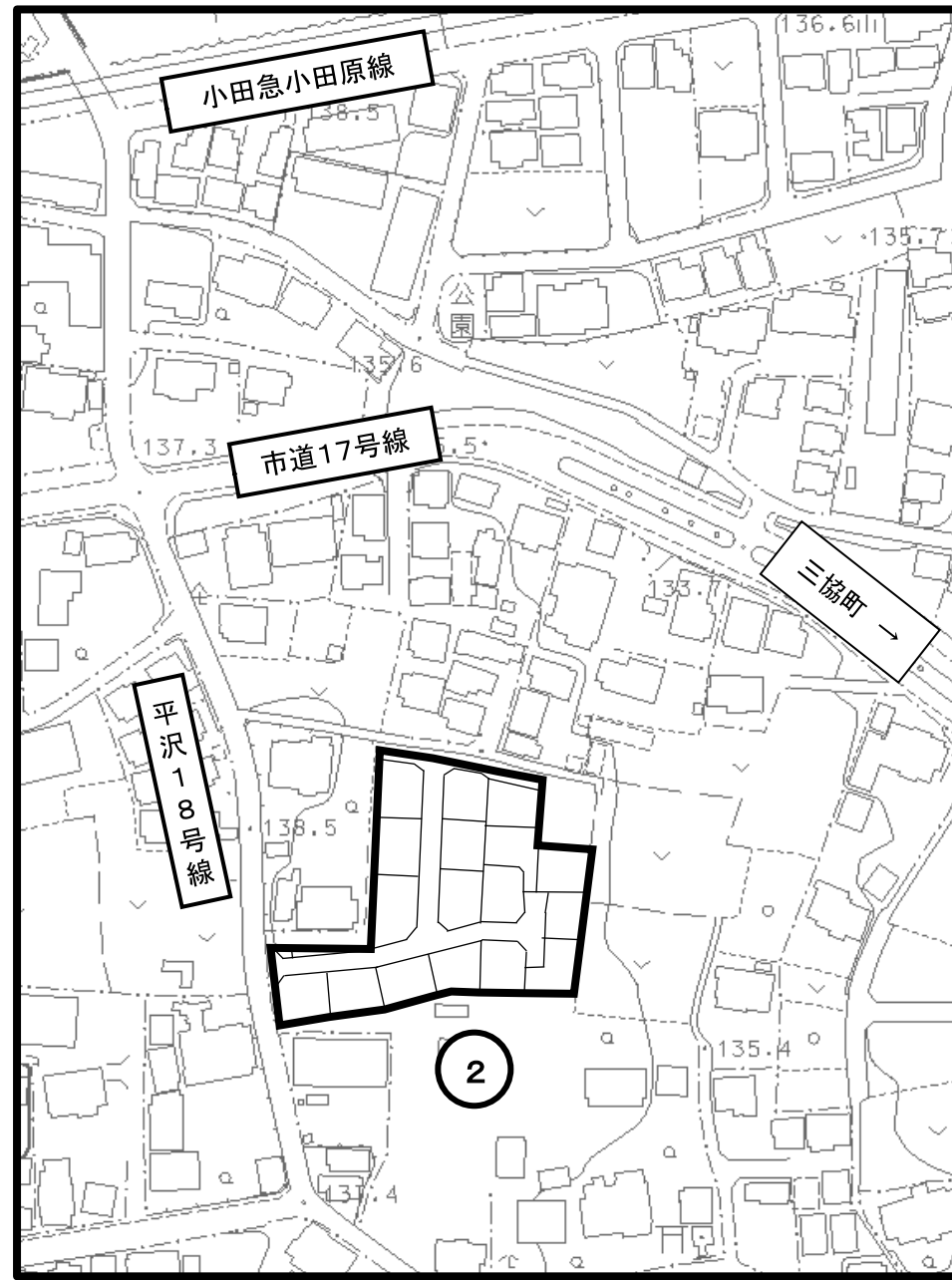
また、今後必要となる富士見の湯の湯沸かしのガス代を抑えるためにも、来年度の改修工事の設計は早期に完成させ、工事予算額を確定させなければならない。そのためにプラント会社の高温水システムの設計経験を活かす必要があり、これらの理由から本業務を委託するもの。

(令和2年5月7日、20日、6月3日 調整部会)

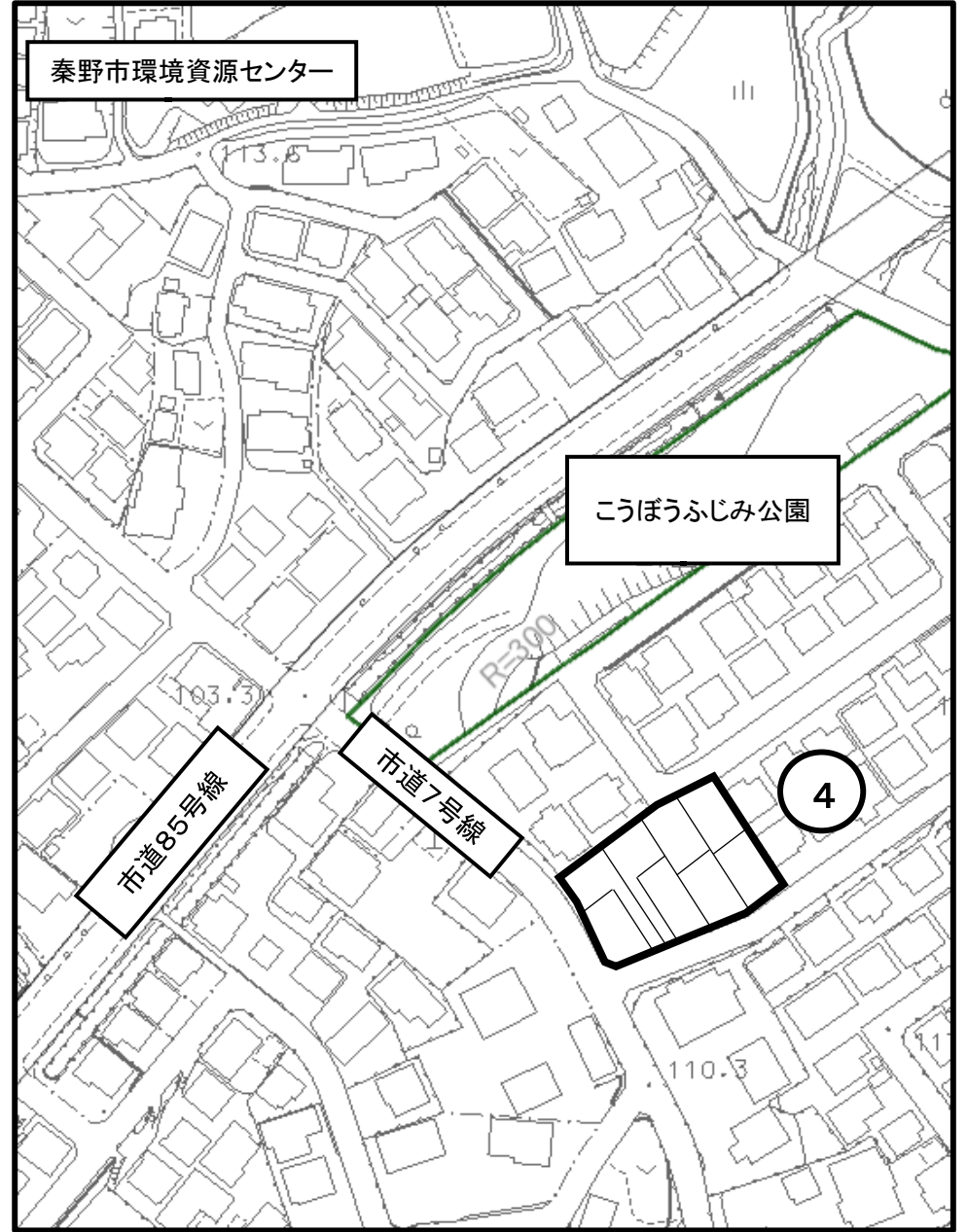
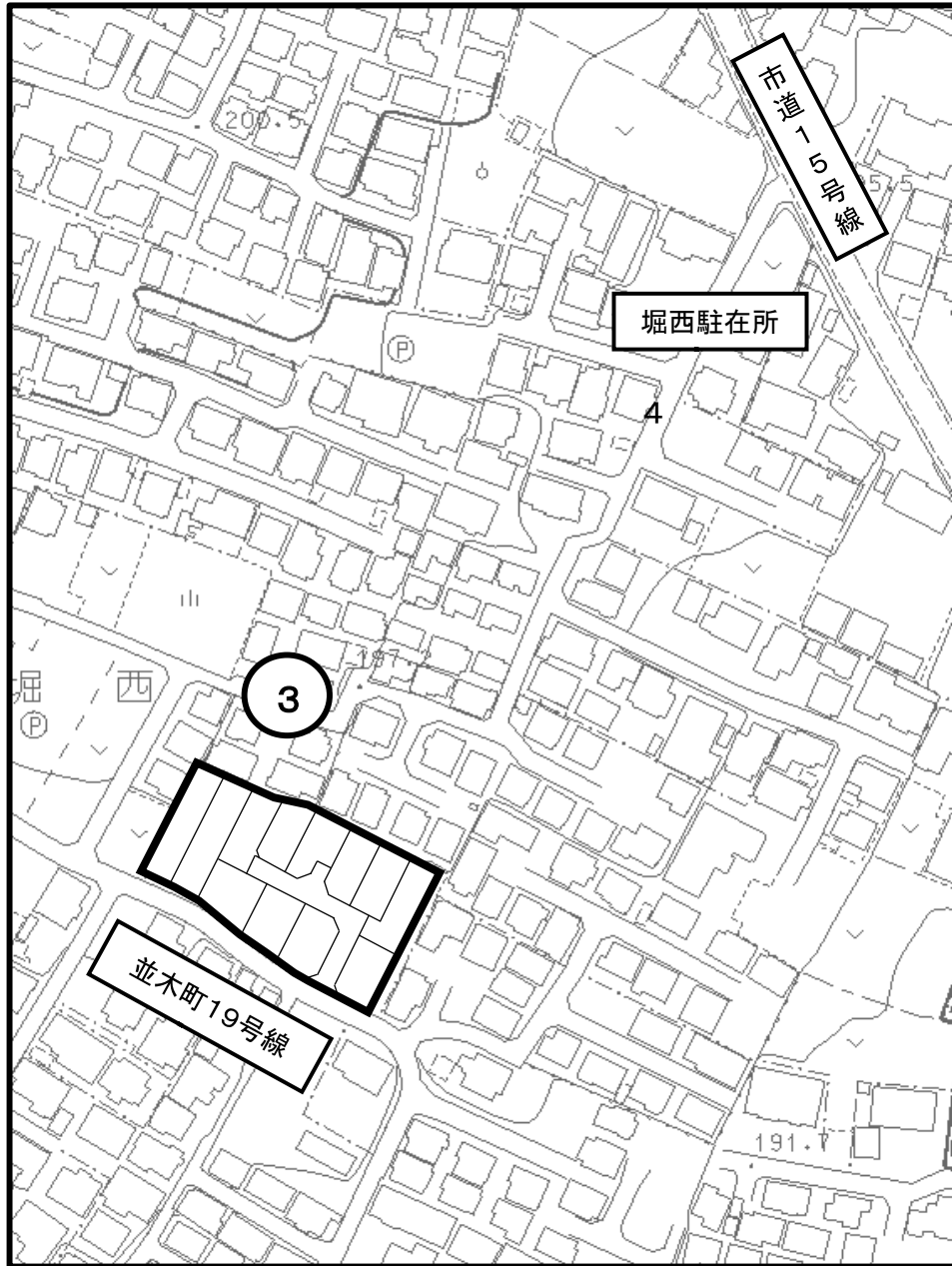
令和2年7月(定例部長会議) 開発指導課

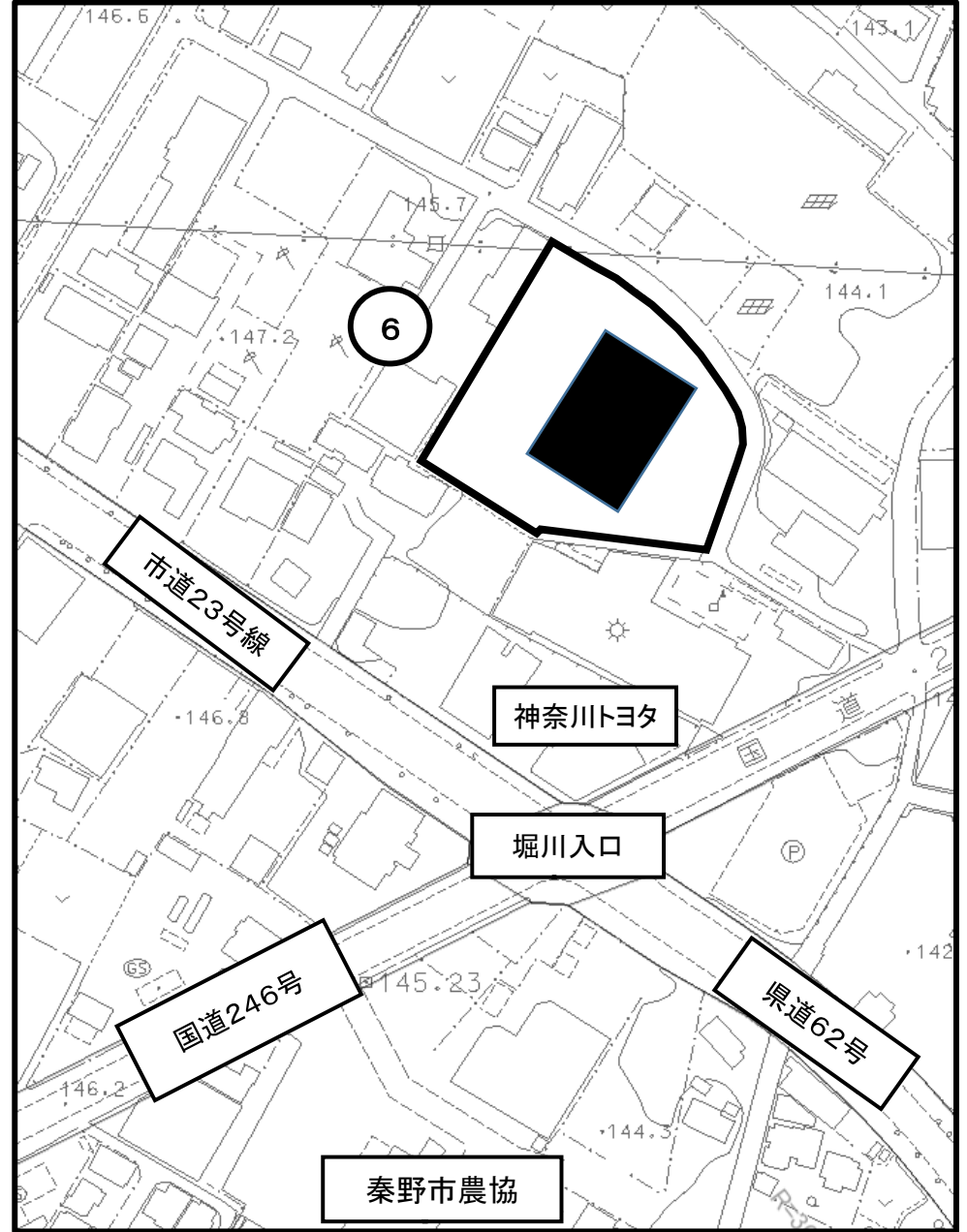
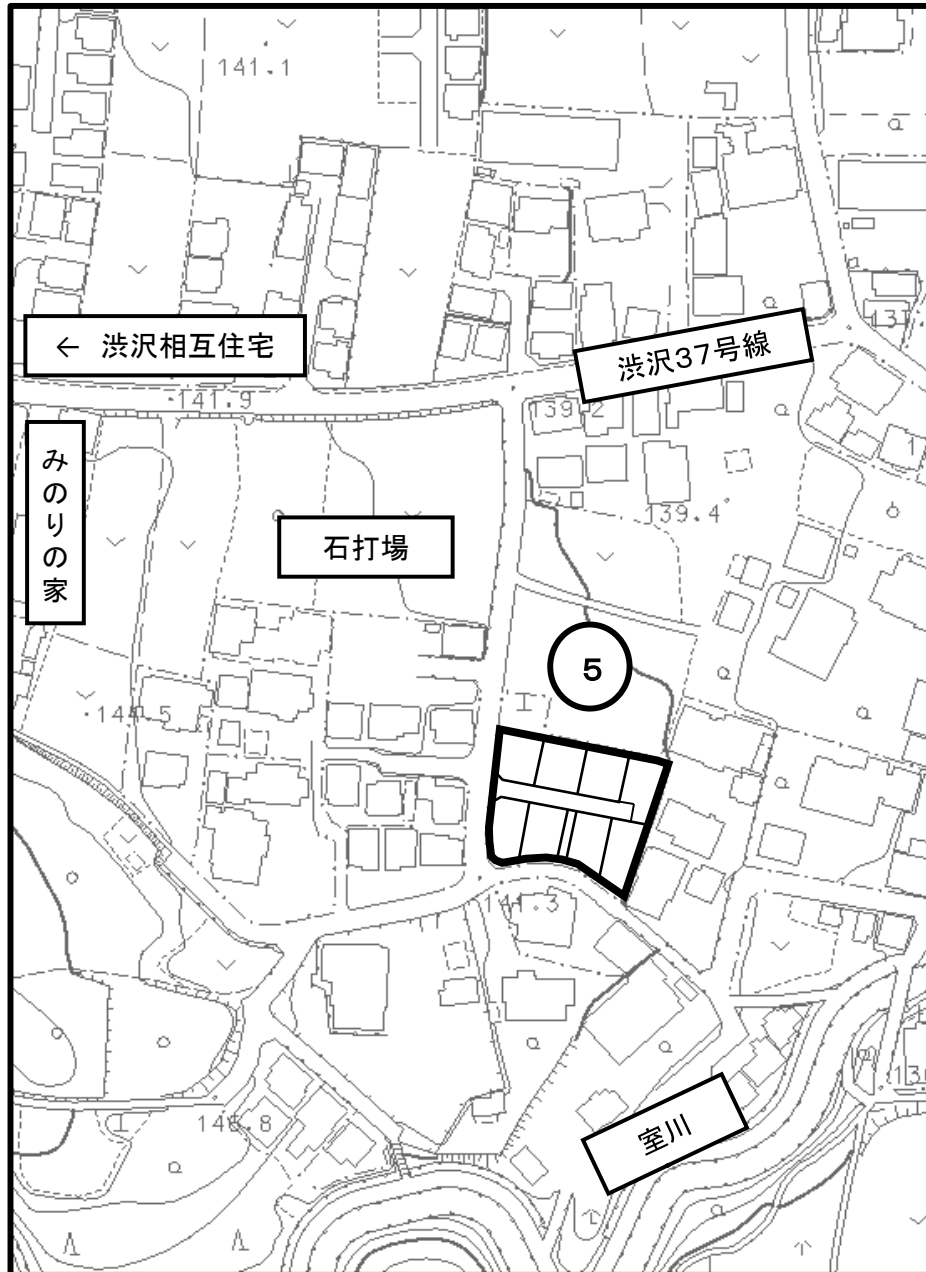
番号	事業名	計画地	事業主	用途地域	開発面積(m <sup>2</sup> )	計画概要
1	北村彰 堀川(舟道) 共同住宅建設事業	堀川字舟道 49番1	北村 彰	第一種住居地域	1008.33	共同住宅1棟 (世帯用15戸)
2	住宅開発 平沢(上開戸) 分譲地造成事業	平沢字上開戸 1559番1ほか	㈱住宅開発 代関野義一	第一種低層住居 専用地域	2992.47	専用住宅17戸
3	マッケンジーハウス 堀西(上原) 分譲地造成事業Ⅱ	堀西字上原 892番1ほか	㈱マッケンジーハウス 代鳥居大祐	第一種低層住居 専用地域	2255	専用住宅12戸
4	遠藤一生 曾屋 分譲地造成事業	曾屋 6017番3ほか	遠藤 一生	第一種低層住居 専用地域	1219.87	専用住宅8戸
5	アーバン 渋沢(石打場) 分譲地造成事業	渋沢字石打場 1544番1の一部ほか	㈱アーバン 代関野裕司	第一種低層住居 専用地域	1225.15	専用住宅8戸
6	横浜トヨペット 平沢(南中原) 工場建設事業	平沢字南中原 252番1ほか	横浜トヨペット(株) 代宮原漢二	工業地域	5160.54	自動車整備工場1棟

(注)区域面積1,000m<sup>2</sup>以上の環境創出行為(自己用住宅1戸は除く)及び集合住宅等で10戸以上の環境創出行為を掲載。









## 主要な環境創出行為の進捗状況

(令和2年6月中旬時点)

令和2年7月(定例部長会議) 開発指導課

### 1 まちづくり条例手続中の事業

番号	事業名	事業主	現在の進捗状況	開業予定等	開発面積(m <sup>2</sup> )	計画概要
1	ベルク 曾屋 (清水窪) 店舗建設事業	(株)ベルク 代大島孝之	調整部会付議 (平成31年1月23日) 開発許可 (平成31年4月24日) 変更協議書提出 (令和2年5月22日)	令和2年9月予定 (7～8月完了予定)	15,703.24	店舗1棟 地上2階地下1階 建築面積8,751.49m <sup>2</sup> 延床面積11,987.22m <sup>2</sup>
2	スタンレー電気 曾屋 (明治畑) 研究施設建設事業	スタンレー電気(株) 代北野綾典	確認通知書交付 (平成31年4月26日) 開発許可 (令和元年5月30日) 変更協議書提出 (令和元年6月14日) 再協議確認通知書交付 (令和元年8月7日) 変更許可 (令和元年9月2日) 第一工区完了 (令和元年9月17日) 第一工区検査済証交付 (令和元年10月7日) 第二工区着工中	令和2年12月全体完了 予定	40,000.15	試験棟1棟、設技棟1棟等の建設 試験棟建築面積5,096.33m <sup>2</sup> 試験棟延床面積5,096.33m <sup>2</sup> 設技棟建築面積5,857.99m <sup>2</sup> 設技棟延床面積10,752.90m <sup>2</sup>
3	マリモ 今川町 共同住宅及び店舗等建設事業	(株)マリモ 代深川真	調整部会付議 (令和2年2月19日)	令和4年工事完了予定	5,048.62	①共同住宅(分譲、世帯用81戸)、②店舗等(スーパー、学習塾、フィットネスクラブ等)兼共同住宅(賃貸、世帯用6戸、単身用72戸)を建設する計画。 ※①: 小田急線側 ②: 水無川側
4	ハーベストネクスト 曾屋 (六間) 事業所建設事業	ハーベストネクスト(株) 代脇本実	調整部会付議 (令和2年4月1日)	令和3年9月工事完了予定	3,555.29	事業所(給食センター)1棟の建設 鉄骨造2階建 建築面積 1,836.91m <sup>2</sup> 延床面積 2,476.94m <sup>2</sup>